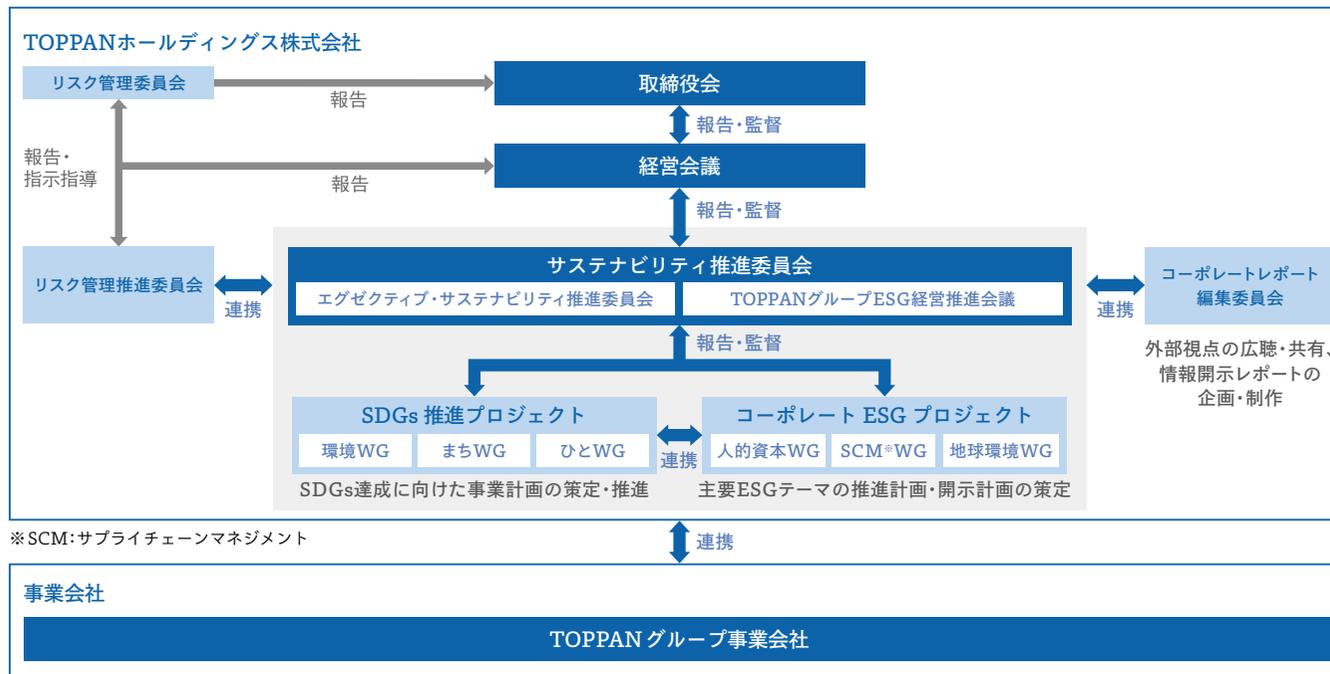


ガバナンス

サステナビリティ推進体制

TOPPANグループは、サステナビリティの課題に関する取り組みの推進を加速させるため、TOPPANホールディングス株式会社の代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会(以下、サステナ委員会)を設置しています。サステナ委員会には、取締役6名、経営会議出席役員が出席しており、コーポレートガバナンス体制の中に位置付けられ、グループ全体のサステナビリティ推進の役割を担っています。

サステナビリティ推進体制



1) 取締役会およびサステナビリティ推進委員会

TOPPANホールディングスの取締役会はサステナ委員会に、TOPPANグループのサステナビリティ課題についての検討・審議を担当させています。サステナ委員会で検討・審議された具体的な取り組み施策は、経営会議を通じて取締役会に報告され、取締役会においてサステナビリティ経営についての総合的な意思決定を行っています。また、取締役会では、サステナビリティの取り組み施策、目標設定および進捗について、継続的に議論・モニタリング・監督を行っています。

2) TOPPANグループESG経営推進会議

サステナ委員会内に、TOPPANグループ事業会社の代表取締役社長および取締役をメンバーとするTOPPANグループESG経営推進会議を設置しており、グループ内のESG、SDGsテーマに関する議論を拡充させ、課題を共有し、解決に向け連携して取り組んでいます。

3) SDGs推進プロジェクトおよびコーポレートESGプロジェクト

サステナ委員会の下部には、部門横断で編成されたSDGs推進プロジェクトとコーポレートESGプロジェクトを設置し、各プロジェクトが連携しながら、個別テーマの対応・推進を担っています。

SDGs推進プロジェクトでは主に事業活動におけるサステナビリティの取り組みを推進し、事業活動マテリアリティとして定めている「環境」「まち」「ひと」の3つのテーマにおける注力分野「TOPPAN Business Action for SDGs」の活動推進と進捗確認を担っています。

コーポレートESGプロジェクトでは、主にTOPPANグループとしてのサステナビリティ課題を担当し、2023年度は、人的資本ワーキンググループ(以下、WG)、SCM(サプライチェーンマネジメント)WG、地球環境WGが編成され、各テーマのプロジェクトを推進しました。

4) エグゼクティブ・サステナビリティ推進委員会

将来的なサステナビリティ課題について意見交換を行う場として、エグゼクティブ・サステナビリティ推進委員会を設置しています。外部有識者と取締役が意見交換等を行い、重要な課題についてはサステナ委員会と連携して、検討しています。

5) コーポレートレポート編集委員会

TOPPANグループのサステナビリティ推進を含めた価値創造の考え方・取り組みをステークホルダーにわかりやすくお伝えするために、各種情報開示レポート(有価証券報告書、統合レポート、サステナビリティレポート等)で整合の取れた開示内容を企画・編集するコーポレートレポート編集委員会を設置しています。本委員会は情報開示をもとにしたステークホルダーとの対話といただいたご意見を社内にも共有する役割も担い、サステナビリティ推進の取り組みと情報開示の好循環を創りだす取り組みをしています。

サステナビリティ推進委員会の活動

2024年度は、サステナビリティ推進委員会は5回、TOPPANグループESG経営推進会議は4回、エグゼクティブ・サステナビリティ推進委員会は1回、それぞれ開催しました。

サステナビリティ推進委員会・TOPPANグループESG経営推進会議 会議議題(一部抜粋)

- ・WG2023年度活動報告
- ・WG2024年度活動予定策定、進捗報告
- ・「TCFD・TNFD提言に沿った情報開示」「人的資本ポリシー」の公表について
- ・外部有識者招聘による勉強会(テーマ:TNFD、GX、人的資本経営、サステナビリティ経営について等)

各プロジェクトにおける主な取り組みと今後の課題については、次の通りです。

コーポレートESGプロジェクト

① 人的資本WG

(主な取り組み)

- ・「TOPPANグループ人権方針」の社内外周知と国内外のグループ会社も含めた社員向け教育の継続実施
 - ・2022年度、2023年度に実施した人権デューデリジェンス結果に基づき、TOPPANグループにおける人権リスクを分析
 - ・過去2年間における調査にて人権への負の影響を及ぼす可能性がある項目を確認した23社へ是正・軽減に対する指導実施
- (今後の課題)
- ・調査結果に基づく、人権リスクの軽減・是正策の推進と情報発信
 - ・現地調査による各社との直接対話の機会拡充
 - ・外部団体との対話継続と、外部評価の活用
 - ・新たな人権課題や情報開示フレームに関する対応

[人権 P32参照](#) >

② SCM WG

(主な取り組み)

- ・「TOPPANグループ サステナブル調達ガイドライン」をビジネスパートナーに浸透させるため、計画立案・対象選定、同意書・アンケート依頼、リスクチェック、フィードバック・是正のPDCAサイクルを推進
- ・部門ごとに調達担当者への説明実施後、対象ビジネスパートナーを抽出・選定し、説明会を通して同意書・アンケート依頼と回収
- ・アンケートを集計、リスクをチェックの上、フィードバックを行い、取り組み内容の確認が必要なビジネスパートナー12社に対して、現地訪問しヒアリングを実施

(今後の課題)

- ・「TOPPANグループ サステナブル調達ガイドライン」への同意と浸透

に向けたPDCAサイクルの継続推進、範囲の拡大と質の向上

- ・2025年度末までに主要なビジネスパートナーとのガイドライン同意書締結率100%(2024年度実績82.1%)

[サプライチェーンマネジメント P74参照](#) >

③ 地球環境WG

(主な取り組み)

- ・TCFD移行リスク(炭素税影響)の見直し
 - ・TNFDにおけるリスク・機会の特定、財務インパクト評価と対応策検討
- TCFD/TNFD統合開示を一部で実施
- (今後の課題)
- ・TCFDにおけるグローバルリスクシナリオの見直し
 - ・TNFDにおける各種開示項目のさらなる強化とTNFDアーリーアダプターとしての開示の完遂

[TCFD/TNFD提言に沿った情報開示 P104参照](#) >

SDGs推進プロジェクト

SDGs推進プロジェクトにおいては、「TOPPAN Business Action for SDGs」の進捗状況を把握、年度の実績を公表するとともに、中期経営計画に即した目標達成の実現性や、選定している指標と活動との整合性等について検証しています。また、社会のサステナビリティ関連ニーズの動向やTOPPANグループが推進するDX、SX 関連の事業動向を俯瞰しながら、今後のプロジェクト活動内容や新テーマの検討を随時行っています。

サステナビリティ推進における今後の課題

「脱炭素社会」や「循環型社会」の実現、「生物多様性」等、グローバルな課題を解決する真のサステナビリティ企業を目指し、コーポレートESGプロジェクト、SDGs推進プロジェクトの両取り組みを加速するとともに、TNFD対応等、サステナビリティ領域の新たなテーマへの取り組みについても積極的に検討をしていきます。

また、ホールディングス体制下でグループ全体をリードしていくサステナビリティ経営推進の体制づくりを進め、グループ企業各社における活動の促進と相互の連携を強化します。

今後も、取り組みと開示を両輪として認識し、TOPPANグループ全体でサステナビリティ経営を推進し、事業推進を通じたグローバルな社会課題解決に挑戦していきます。